

西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)
No.170
「お試し」「一回だけ」のつもりが定期購入に？

ホームページやSNSで、「1回目90%オフ」「初回実質0円(送料のみ)」などと広告されているが、「数ヶ月間の定期購入」が条件の健康食品や飲料、化粧品の通信販売に関する相談が寄せられています。

■相談事例

初回お試し500円というサプリメントを注文。1回限りと思ったら、同じ商品が6千円の振込用紙とともに再び届いて驚いた。電話を掛けると、「中途解約はできない。通常価格で購入すれば解約できる」と言われた。

■問題点

- 定期購入が条件であることが分かりにくい。
- 定期購入中に解約できないことを知らない。
- 注文時の想定以上の金額を支払うことになる。

通信販売にはクーリング・オフ制度がありません。返品・交換などについては、通信販売業者が定めるルールに従うことになります。

■申し込む前にココを確認！

- ①定期購入が条件でないかなど契約内容を確認。
- ②解約・返品が可能かなど解約条件を確認。
- ③販売サイトの表示や広告、申し込み内容が表示された画面をスクリーンショットなどで保存しておく。



早朝からレントン通り周辺の清掃活動に取り組む企業の方々

地域の方と育むまちづくり
このたび、レントン市での姉妹都市提携50周年記念式典やイベントに出席してきました。使節団として、西脇市にきた中学生から80歳代まで幅広い年代の方々に集っていただきました。50年もの長きにわたる交流は、レントン市・西脇市両市民の強い思いがあるからだと改めて感じました。特に、式典の席上で交流当初から関わっていただいたレントン市民3名の方(全員ライオンズクラブメンバー、80歳

代)に対し、在シアトル日本国総領事から感謝状が贈呈されました。大変栄誉なことであり、この大きな節目に同席できたことを光栄に感じました。
レントン市には「西脇通り」があります。西脇市は、平成14年にJR鍛冶屋線跡から生まれ変わった道路を「レントン通り」と命名しています。かつてこの場所は、JR西脇駅があり、西脇市の表玄関でした。現在、このレントン通りなどアピカホール周辺の道路を「西脇市の顔となる地点」として、4年前から地域の企業の方が中心となり、社会貢献の一環で月2回、清掃活動を実施してくださっています。企業の皆さんの支援は、まちを元気にする原動力です。活動を続けてくださることに心から感謝いたします。
若者が誇れる「元気なまち西脇市」を皆さんとともに創ってまいります。



西脇市長 片山 薫

市長からの手紙

西脇を元気に!!

70

あぐりコラム 8

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線322)



無防備な農地ほど野生動物に狙われやすい

野生動物から農作物を守るために

近年、野生動物による農作物への被害が増加し、深刻な問題となっています。西脇市でもシカやイノシシ、アライグマなどによる被害が多発しています。そのため、猟友会の協力を仰ぎ、捕獲による個体数管理を行っています。また、集落ごとに防護柵設置を進めており、被害の減少に効果を発揮しています。一方で、集落の形状やさまざまな事情によって、防護柵未設置箇所からの動物の侵入など、被害は後を絶たない状況です。

野生動物は危険性の低い農地から荒らしします。耕作放棄地など身を隠せる茂みがある、餌となるものがある、被害を受けても対策を取らないなどの農地は要注意です。

被害を受けたら、ネット柵の設置や取り残し作物の除去、すき込みなどの対策を行い、「ここは人間の縄張り」と、野生動物に知らせることが重要です。また、被害に対して一人だけで対策を取っても、翌日には隣が被害に遭い、連鎖的に被害が拡大することもあります。「地域の農地はみんなを守る」という意識のもと、地域ぐるみで行う対策が効果的です。野生動物から農作物を守るために、今一度、地域の現状を見直してみませんか。



▲菊池省三先生による公開授業(10月10日/比延小学校)

「教科書が読めない」「問われている文章の意味が分からない」ことが原因となり、子どもたちが学習につまずいていることがあります。文章を正しく把握し理解するための「読解力」は、全ての学習の基盤となる力であり、生活に必要な力です。西脇市では市内の教職員が読解力向上のための問題を作成し、子どもたちが読解する能力を獲得できるように指導・支援に取り組んでいます。

全国学力・学習状況調査結果

(平成31年度/平均正答率による結果)

		国語	算数・数学	英語
小学校	西脇市(%)	58.6	62.1	-
	全国公立(%)	63.8	66.6	-
	差(ポイント)	▲5.2	▲4.5	-
中学校	西脇市(%)	66.0	51.9	52.4
	全国公立(%)	72.8	59.8	56.0
	差(ポイント)	▲6.8	▲7.9	▲3.6

▲はマイナスを示します。

10月7日から11日までの5日間、市内小・中学校において「にしわき学力向上ウィーク」を実施しました。「世界一受けたい授業」などのテレビ番組に出演された元小学校教員の菊池省三さんを講師としてお迎えし、模範授業をしていただいたり、教員への指導助言をいただいたりしながら、教員たちは子どもたちが主体的に学習に取り組める授業づくりについて学びました。市内外の教員や市職員、教育関係者も参加し、西脇市の教育について考えを深める機会となりました。

今年4月18日に小学6年生と中学3年生を対象に調査が実施され、文部科学省が7月に結果を公表しました。今調査では、市内平均正答率が小学校と中学校ともに、全国平均をやや下回っている結果となりました。西脇市の子どもたちが学力を伸ばしていくためには、現在学校で取り組んでいる分かる授業づくりや読解力向上の取り組みなどに加えて、学校・家庭・地域がともに子どもたちを支えていくことが大切です。ご協力をよろしくお願いいたします。

▼問合せ 学校教育課(市役所内線527)

好きです!! にしわき わたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

「にしわき学力向上ウィーク」を実施

組んでいます。

全国学力・学習状況調査

「誰に投票したの?」「それは言えないよ」と笑いながら投票を済ませたあとの妻との会話。結婚してから40年がたちますが、二人とも投票を欠かしたことはありません。むしろ投票することに何の疑いもなく、当然のこととして習慣化さえしています。

このような光景を少し立ち止まって考えてみると、80年前には見ることはできませんでした。なぜなら、日本において女性が初めて選挙に参加したのは昭和21年の総選挙だったからです。それまで「婦人参政権」への運動はありませんでしたが、実現しませんでした。このことは世界でも一部の国を除いて同じようです。それは社会参加は男性が行い、女性は男性を支えていれば良いという考え方によるものでした。女性の権利が尊重されず、能力においても低くみられたり、「けがれ」意識などの偏見によって差別されたりしていました。

コーナーには、女性への意識を変える運動とともに、労働などに積極的に社会参加を図りながら女性の地位向上に努めた歴史が展示されています。かの国の現代の男女平等社会の礎を見ることが出来ます。日本では戦後困難な過程を経ながら次第に平等意識が高まり、社会の要請を受けながら、およそ30年前に「男女雇用機会均等法」が施行されました。今は男女が「性別による差別」を受けることなく、あらゆる場所で活躍できる社会ができています。これは教育をはじめ、さまざまな分野で人権意識の高揚に取り組んできたことの現れではないでしょうか。

毎年11月12日から25日まで、「女性に対する暴力をなくす運動(25日は女性に対する暴力撤廃日)」が行われます。これも「豊かな社会」を創る歴史の1ページとなることでしょう。

さて、私たち老夫婦は「秘密」を持ちながら、楽しく投票所に行きたくらいと願っています。(人権教育課)

心のスケッチ

128

人権教育課コラム

歴史が語る女性と人権

